

津奈木小「人権の花運動」・平国小「ヒラメ稚魚放流」実施

大きくなって帰ってきてね！

ー平国小学校児童がヒラメ稚魚放流体験ー



5月6日、津奈木漁協で平国小学校全児童がヒラメの稚魚放流を体験しました。これは、不知火・天草地域の沿岸市町村及び漁協の共同事業として、不知火海に毎年70万尾余りが放流されているもので、本年度、平国と合串の漁港には4万尾が放流されました。子どもたちは、「ヒラメさん大きくなれ。」とバケツに入ったヒラメを思い思い海に放していました。また、濱田組合長から、今捕れている魚（しろうこ）について説明がありました。子どもたちにとって、この放流体験が平国小の良き思い出となることを期待いたします。

思いやりの花を咲かせよう

ー津奈木小学校で「人権の花」種子伝達式ー



5月19日、津奈木小学校で「人権の花」種子伝達式が開催されました。式では、八代人権擁護委員協議会井上博之副会長が「言葉話すことができない花の気持ちを考えながら、一人ひとりが大切に育ててほしい」と挨拶。マリゴールドの種とプランターなどが贈呈されました。それに対し、6年生の久村健斗くんが、「きれいな花を咲かせ、その種を飛ばして、思いやりをみんなに届けたい。」と宣言。なお、花からとれた種は今秋、風船にメッセージを添えて飛ばす予定となっています。

- 「人権の花」運動について：この運動は、法務省の委託を受け実施されるもので、花を育てることで児童に思いやりの気持ちを持ってもらおうと、地元の小学校と八代法務局・管内市町等で構成する「くまもと県南人権啓発活動地域ネットワーク協議会八代地区部会」が協力して平成19年度から実施しているものです。

心より感謝！

四季彩200万人達成！

→200万人目のお客様 福浦シズエさん（右から3番目）ご家族と西川町長（右から1番目）



4月17日、つなぎ温泉四季彩の来館者数が200万人を超えました。200万人目のお客様は、家族3人で芦北町湯浦からいらした福浦シズエさん。玄関上部に設置されたくす玉や、西川町長からの記念品贈呈にびっくりしつつも、「おとといが誕生日で、続けてのお祝いが本当に嬉しいです。5月の連休に息子が帰ってくるので、また連休にお邪魔します。」と笑顔で答えてくださいました。これまでご来館くださった皆さんの皆様、本当にありがとうございます。これからも皆様のご来館を心よりお待ちしております。